

● 入札書記載時の注意事項

入札書は、次の点に注意して記載してください。

1. 「入札金額」、「単価」、「金額」各欄は、アラビア数字で記載してください。
2. ① 「入札金額」、「単価」、「金額」各欄は、日本国通貨単位「円(えん)」で算出してください。
 ② 単価基本契約の場合、「単価」欄は「円」および「銭(せん)」を用いることができます。
 なお1銭は1／100円とします。
3. 「入札金額」、「金額」各欄は、「円」単位の整数を記載してください。
 ① 円未満の小数(=「銭」単位)の金額は記載できません。
 ② 「金額」欄を「円」単位の整数にするための端数整理(切上・切捨・四捨五入等)や、算出後の「金額」に対する端数値引は行わないでください。
 (単価)×(数量)=(金額)となるうち、「金額」が「円」単位の整数となるように、単価を見積もってください。
4. 「単価」欄は「円」を単位として、小数点以下第2位(「銭」の位)まで記載できます。
 ただし、前述 3. のとおり、「金額」欄には「円」単位(整数)しか記載できません。
 従って、記載する単価は、次表を参考とし、(単価)×(数量)=(金額)となるうち、「金額」が整数となるようにしてください。

| | 単価「100円」で見積もる場合 | 単価「98. 76円」で見積もる場合 |
|---------------------------|--|---|
| (例1) 見積数量「100」 個の場合 | ○ $100 \times 100 = 10,000.00$ 円 「金額」に「円」未満の小数点が発生しない。 | ○ $98.76 \times 100 = 9,876.00$ 円 「金額」に「円」未満の小数点が発生しない。 |
| (例2) 見積数量「99」 個の場合 | ○ $100 \times 99 = 9,900.00$ 円 「金額」に「円」未満の小数点が発生しない。 | ✕ $98.76 \times 99 = 9,777.24$ 円 「金額」に「円」未満の小数点(=「銭」の位)が発生する。 この例の場合、「99. 00円」または「98. 00円」での入札を検討してください。 |

5. 入札公告等に出す無効事由のほか、次の場合に入札書が無効とすることがあります。
 - ① 「入札金額」欄、「金額」欄のいずれかに「銭」単位の金額が記載されている場合。
 - ② 「入札金額」、「単価」、「金額」各欄の計算結果が不整合となる場合。
 - ③ 「入札金額」、「単価」、「金額」各欄のいずれかが未記載や判読不能である場合。